タイトル『たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ』

著者：汐見夏衛　　出版社：角川文庫

主人公である高校2年生のなずなのクラスメイト鈴白くんが突然命を絶った。彼は容姿端麗、成績優秀、おまけに誰にでも優しく完璧な存在であった。そんな彼の悩みは何だったのだろうか。

後悔の中、砂時計に願いを込め眠ると、1ヶ月前にタイムリープしていた。しかし1ヶ月後にもまた彼は死を選んでしまう。彼を死なせないために何度も時を戻すなずなは未来を変えられるのか…

読後は、登場人物たちのやりとりから「普通」について考えさせられました。最後まで彼らの選択と結末に目がはなせませんでした。

投稿日 2026 年 11 月 11 日

| ペンネーム（本名は書かないでね！） | 年齢 |
| --- | --- |
| オムライス | 14 |

仙台市　太白　図書館　YAコーナ